

平成31(令和元)年度 学校評価アンケート(年間評価)結果について

1. 生徒アンケート集計と分析

質問項目	重要度	実現度
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	6.5	6.1
学校のきまりや約束事を守っている。	6.5	6
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.7	5.9
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.4	5.7
学校に行くことが楽しい。	6.5	5.6
先生や友だちから大切にされていると感じる。	6.4	5.5
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.5	5.5
自分から進んでいさつをしている。	6.4	5.4
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.7	5.5
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.2	5.1
学校からの配布物は保護者に渡している。	6.5	5.1
困ったことは、先生や家族に相談している。	6.2	4.8
早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができている。	6.4	4.7
授業の内容はよくわかる。	6.8	4.8
ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.9	4.3
平日課題の取り組みや、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	6.1	4.4
1日平均30分以上(朝読書を含む)読書をしている。	4.9	3

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

昨年度と比較をすると、実現度が上がっている項目は17項目中10項目あり、昨年度と同じ項目が4項目でした。全体として良くなっています。上位の2項目である「係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている」「学校のきまりや約束事を守っている」については、昨年と同じ順位で、更にポイントも上がっており、神川中学校の生徒が大変生真面目で、自分の役割をしっかりとこなそうとしているということが結果に表れています。その次の2項目として「友だちに嫌な思いをさせないようにしている」「家族と過ごす時間を大切にしている」があがっており、友達や家族を大切にしている神川中学校の生徒らしさがうかがえます。

下位の項目で「平日課題の取り組みや、家庭学習に、平均して1日1時間以上取り組んでいる」の項目の実現度が下がっていることが残念ではあります、「ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している」と「1日平均30分以上読書をしている」の項目の実現度は上がっており、今後さらに上がってほしいところです。

2. 保護者アンケート集計と分析

質問項目	重要度	実現度
子どもは学校に楽しく通っている。	6.8	5.7
子どもに、友だちを大切にするよう働きかけをしている。	6.7	5.6
子どもに、きまりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.6	5.3
子どもが先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.6	5.3
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.5	5.2
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.6	5.1
子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけをしている。	6.5	5
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わっている。	6.1	4.8
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.4	4.9
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通して把握しようとしている。	6.5	4.8
子どもに、授業に集中して取り組むよう働きかけをしている。	6.6	4.8
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.5	4.7
子どもに家族の一員としての役割(家の手伝いなど)を作るようとしている。	6.1	4.4
子どもに、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.4	4.5
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようとしている。	5.4	3.8
子どものケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.4	3.9
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.7	3.1

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

昨年度との比較では17項目中9項目で実現度が上昇するという素晴らしい結果となりました。昨年度大きく順位を上げた項目の「子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある」は今年度更に実現度が上昇し、子どものために保護者の方と学校との連携できることをうれしく思い、大変心強く感じます。

昨年度も課題として感じていた、実現度の低い項目の「子どもに家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている」「学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようとしている」「子どものケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している」の3つは、実現度が上がり、生徒アンケートでも結果に表れています。保護者の皆様の子どもたちへの願いや声かけはじわじわと子どもの心にしみしていくのもので、反抗的な態度をとることもある年頃ですが、あきらめずに声かけを続けていただきたいと思います。学校でも様々な場面で実現度が上がるよう取り組んでいきますので、ご協力よろしくお願いします。